

## 上宮寺通信

第五十二号

なぜ『般若心経』を読まないの？

「きみようーむりようーじゆ  
 によーらーい」。真宗門徒ならば  
 一度は耳にしたことがある『正  
 信偈』の最初のフレーズです。

『正信偈』とは親鸞聖人がお  
 書きになられた『教行信証』の  
 中にある偈文で、念仏の教えが  
 簡潔にまとめられ、朝晩のお勤  
 めで読まれるなど親しまれてき  
 ました。

よく「真宗では『般若心経』  
 は読まないのですか？」と聞か  
 れることがあります。そんなと  
 きは「真宗には『正信偈』があ  
 りますから」と答えるのですが、  
 『般若心経』は各仏教宗派でも  
 よく読まれ、一番有名なお経と

いつでも過言ではありません。

では、なぜ真宗では『般若心  
 経』を読まないのでしょうか。  
 いろいろ調べてみても、「なるほ  
 ど！」と合点のいく答えはなか  
 なか見つかりません。

解釈に間違いがあるかもしれ  
 ませんのであくまでも私見です  
 が、『般若心経』の解く教えと最  
 後の「真言」に真宗の教えとは  
 相容れないところがあるのでは  
 ないかと考えています。

『般若心経』は「色即是空 空  
 即是色」という有名な言葉があ  
 るように「空」を説きます。「空」  
 とはモノには実体がないという  
 お釈迦様が明らかにされた真理  
 です。

その「空」の境地を体得する  
 ために説かれるのですが、この

「空」ということが難しい。厳  
 密に言えば「空」とは何かと考  
 えたりしたら、その時点で「空」  
 でなくなるのです。私たちの  
 “思い”という実体に縛られて  
 しまうのです。

つまり、凡夫が生きて生活し  
 ている以上、「空」という境地は  
 無理といわざるをえない。親鸞  
 聖人はとても凡夫には到達でき  
 ない教えとただかれたと思っ  
 のです。

そして最後に「真言」が説か  
 れます。「ぎやーてい ぎやーて  
 い はーらぎやーてい…」の一  
 説ですが、この言葉を唱えるだ  
 けで不思議な力が宿るともされ  
 ています。そのような神秘的で  
 呪術的なこともまた親鸞聖人は  
 否定されています。

煩惱いっぱい凡夫である私  
 たちは阿弥陀如来におまかせす  
 るしかない。その仏恩に感謝す  
 る「南無阿弥陀仏」の念仏だけ  
 でいいというのが親鸞聖人の教  
 えです。

凡夫では無理な境地を目指し  
 呪術的な真言を説く。その観点  
 から、真宗は『般若心経』を読  
 まないと私なりに理解していま  
 す。



◆行事案内

上宮寺の行事

修正会

1月1日(元旦・日)

午後2時～2時半頃

※元旦の午後2時より正信偈のお勤めをします。

また、午後1時～3時の間、本堂と納骨堂を自由に参拝できるように開放いたします。

どうぞ年の始めにご家族でご参詣ください。

※お参りの際はマスク着用でお願いします。

名古屋別院(東別院) 報恩講

12月13日(月)～18日(土)

◆話題あれこれ

○11月8日の報恩講には、天気にも恵まれ多くの方にお参りをいただきありがとうございました。

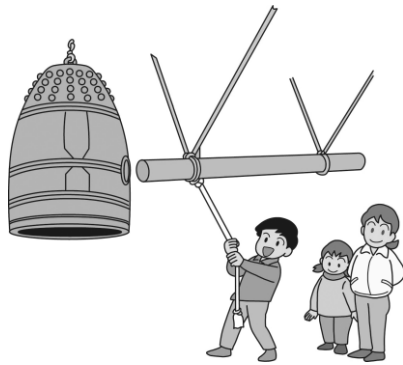
○11月24日の東本願寺報恩講団体参拝にも多くの方のご参加をいただきありがとうございました。

○お参りいただいた法要では楽僧の真後ろで参詣していただき、出仕の時にすぐにわかりました。速夜法要(午後の法要)では二曲しか吹きませるので、あまり活躍(?)できる場が見せることができて残念でした(笑)

○12月18日(日)の東別院報恩講の結願日中でも楽僧として出仕させていただきます。法要は午前11時からです。お時間ありましたらぜひご参詣ください。

○修正会でのビンゴ大会、お抹茶、甘酒のふるまいは、今回も中止させていただきます。

○新型コロナウイルスのほか、インフルエンザ、風邪なども心配されます。感染予防をしっかりと、良い年をお迎えください。



【雑感】

本山報恩講期間中は例年にないほど暖かくて、冬物の装束を持って行ったのですが汗をかぐぐらいでした。そんな陽気に誘われて京都を訪れる観光客も多く、駅は人、人、人。そんな中、時間をみつけて真言宗智山派の総本山智積院へ行ってきました。紅葉のピークは少し過ぎたようでしたが「利休好み」といわれる庭園を書院に腰かけて眺めていると心が洗われる気がして、ついつい時間の経つのを忘れてしまいました。京都が人をひきつけるのも、こんなところにあるのでしょうか。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年(丁)自十九番十五号

☎052-871-0547